



News Letter

2025年

12月

中国四国農政局
徳島県拠点

棚田の再生に取り組んでいます!! ～神山町江田集落「エタノホ」～

名西郡神山町上分江田集落の棚田は、町役場から西に車で約15分の場所にあります。

約17年前、この棚田は、耕作放棄地が増え荒れ果てていましたが、「神山塾※」の卒塾生3名（3期生植田彰弘さん、5期生植田千寿美さん、6期生兼村雅彦さん）が10年前に神山町へ移住し、江田集落で「エタノホ」という名前で棚田の保全活動に携わるようになりました。

1ヘクタールの棚田を3人で管理し、その内の40アールで米と菜の花を栽培しています。

毎春、棚田は一面菜の花の絨毯になり、美しい光景を楽しみに多くの観光客が訪れます。

米作りには、兼村さんがハウスマスターを務める城西高校神山校の寮「あゆハウス」の生徒も手伝っています。



棚田の風景 （写真提供 エタノホ）



左から植田彰弘さん、植田千寿美さん、兼村雅彦さん

（写真提供 エタノホ）

兼村さんは、「最初は、神山塾の仲間と一緒に棚田を再生する作業が楽しかった。しかし、近年は、自然災害が頻発し深刻化する温暖化の状況下で棚田の果たす役割などを考えるようになった。棚田で収穫したお米は販売し、その売上金を「棚田保全費」として次年度の活動と景観維持などに活用している。棚田での米作りは、収益等の効率は悪いが、治水などの多面的機能を担っている。そのことが、都市部を守ることにつながっていることへの理解を深めてほしい。3人だけで棚田を維持していくことは難しく、高校生の支援には感謝している。農業の後継者不足が進む中、卒業生がこの経験を活かし農業に従事し、江田集落に戻ってくることがあれば嬉しい」と話されました。

※ 「神山塾」は、2010年12月からスタートした国の求職者支援制度を活用した職業訓練です。

あゆハウス寮生（2年生）のお二人にお話しを伺いました！



富永さん（左）と畠さん（右）

富永さんは県内（神山町外）から、畠さんは関東から入寮しています。

富永さんは、「実家は、にんじん農家、将来は実家を継ごうと考えている。北海道や新潟の方でお米やいろんな野菜の育て方を学びたい」と力強く話してくれました。



はざかけ（写真提供 エタノホ）

あゆハウスは、7年前（平成30年）に開設されました。

棚田での米作りは、1期生5人のうち1人から始まり、現在は、1年生から3年生の17人全員が参加しています。

2年生の富永力希さんと畠葵さんの2人は、「田植前のしろかきから収穫後の脱穀まで全部やってみて楽しかった。すべて手作業でしんどいけど達成感がある。しろかき後の泥んこ遊びが終わり、川で泥を洗わなければ自動車に乗せてもらえないで、川の水はとっても冷たかった」と話してくれました。



しろかき後の泥んこ遊び（写真提供 エタノホ）

畠さんは、「高校に入学するまでは農業に携わることはなかった。お米作りに参加して、農業の大変さ、お米のありがたみがわかった。将来に向けてのビジョンはまだ描けていないが、農業が選択肢の一つになった」と笑顔で話してくれました。

パネル展「みどりの食料システム戦略」を開催します！

QRコード

1 とくしまマルシェ

開催日時：令和7年11月30日（日曜日）9時～14時

開催場所：とくしまマルシェ会場（徳島県徳島市東船場町1丁目 しんまちボードウォーク周辺）

2 徳島市立図書館

開催日時：令和7年12月3日（水曜日）～12月15日

（月曜日）9時～21時（12月3日は11時から、12月15日は15時まで）

開催場所：徳島市立図書館

（徳島県徳島市元町1丁目24番地アミコビル5階）